

「障害者就労支援士検定（仮称）」 について考えるシンポジウム

厚生労働省は、「障害者就労支援士検定（仮称）」を取りまとめ、2025年度以降に、その具体化に向けてのモデル問題の作成や検証をすることとしています。日本職業リハビリテーション学会では、この資格に対する対応を考えていくためのシンポジウムを開催します。

2025年6月7日（土）
13:30～16:30

対面：大妻女子大学 千代田キャンパス
F棟－742室（80名）
<https://www.otsuma.ac.jp/access/>
＋ オンライン（150名）
参加費：無料
（学会員に限らず関心のある方を対象）

講演：
「障害者就労支援士検定（仮称）」について
小川 浩（大妻女子大学）

シンポジウム：
新たな資格を「どう受け止め」、そして、
私たちは「どのように対応していくか？」

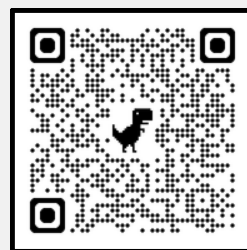
話題提供者1：若尾勝己
（東松山障害者就労支援センター）

話題提供者2：朝日 雅也
（埼玉県立大学名誉教授）

話題提供者3：倉知 延章
（就労支援センターウィズダム）

参加申込

以下のURLまたはQRコードから参加申込みをしてください。



[https://forms.gle/5tdA96Ft
sva29PQD9](https://forms.gle/5tdA96Ftsva29PQD9)

締め切り：5月31日（土）12時まで

会員募集中

様々な障害のために職業に就くことや維持していくことが困難な人々に職業を通じた社会参加と自己実現、経済的自立の機会を作り出していく取り組みが職業リハビリテーションです。

本学会では、職業リハビリテーションに関する科学的な研究・実践活動を通じ、わが国における障害者の職業リハビリテーションの進歩・発展に寄与することを目的としています。

日本職業リハビリテーション学会
<https://vocreha.org/>